

スタートアップファームたけた

～令和7年7月28日(月) 訪問～ 【竹田市】



竹田市は、令和5年の農業産出額が県全体の18%を占めるなど、農業が盛んな地域です。スタートアップファームたけたは、農地やビニールハウス施設、農業機械の貸出を通じて、これから農業を始めたい人の多様なニーズに応える受け皿として、令和4年3月に開設されました。これまでに10組の研修生が入植し、うち7組が市内で就農しています。

1.4ヘクタールの敷地内には、ビニールハウス施設が4区画、露地の畑で5区画の貸出農地があります。貸出用の農業機械には、トラクターや耕うん機等があり、市や県の普及指導員が、圃場と共用機械等の保守管理や入植者への栽培・出荷に関する助言を行っています。

懇談では、入植者の就農したきっかけや、就農した方の経営状況についてお話を伺いました。参加者からは、栽培品目ごとの収益性や、SNSの活用など販路開拓の多様化についてご意見を伺いました。また、夏の猛暑の対策のため、冷蔵倉庫に関する整備の要望等もお聞きしました。

スタートアップファームの仕組みは、農業未経験者でも実践的に学べるシステムであり、県としても引き続き新規就農者への支援に取り組みたいとお伝えしました。



関連分野における県の施策 (令和8年度)

☆事業名：産地が取り組む就農支援研修等強化事業

事業概要：担い手の確保・育成を図るため、市町や農業等の産地が設置するファーマーズスクール等の設置・運営を支援

予算額：789万円

☆事業名：おおいた園芸産地づくり支援事業

事業概要：地域特性を活かすとともに、マーケットに対応した園芸品目を育成し、生産拡大を図るため、市町の「園芸産地づくり計画」に基づき認定農業者等が行う栽培施設の整備等を支援

予算額：13億8,094万円

☆事業名：園芸作物高温対策推進事業

事業概要：酷暑の影響を受ける農家の経営安定を図るため、気候変動に対応可能な産地生産体制の構築を推進

予算額：6,084万円